

ejob 事業 アンケート調査結果（コンサルタント向け）

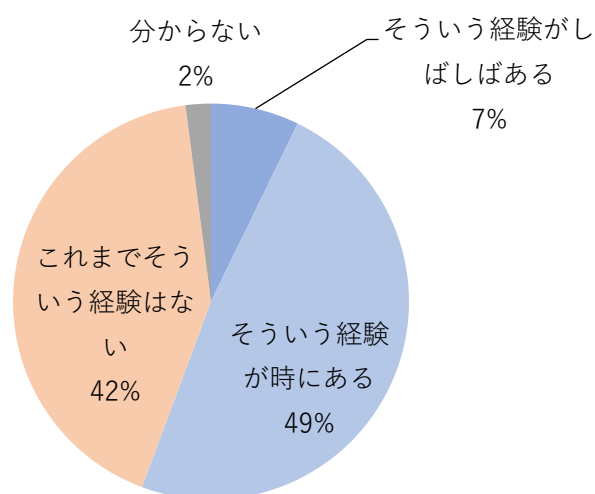
■実施概要

配布先	配布方法 ／回収方法	配信日 ／回収予定日	配信数		回収数 ／回収率
都市コン会員コンサル タント(法人)	都市コンからメール送信 ／ウェブ入力、メール返信	9月20日／ 10月11日	117	627	97 ／15.5%
認定都市プランナー (個人)			380		
認定准都市プランナー (個人)			130		

* 回答は法人（会社）と個人（認定プランナー等）を区分できないが、コンサルタント協会会員（正会員、法人準会員）111社中47社から回答があった

■調査結果

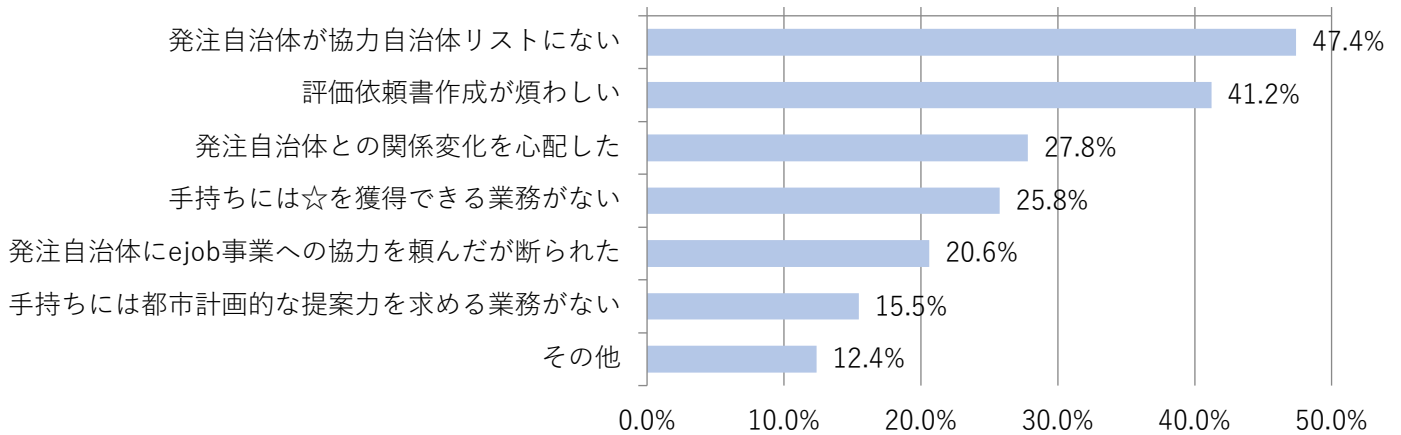
問1 業務評価の依頼を検討したが、結局依頼しなかったという経験をお持ちでしょうか。（いずれか一つを選択）



	そういつ験がし ばしばある	そういつ験が時にある	これまでそういつ験はない	分からない	無回答
実数	7	47	41	2	0
割合	7.2%	48.5%	42.3%	2.1%	0.0%
母数	97	97	97	97	97

（母数＝回答者全て）

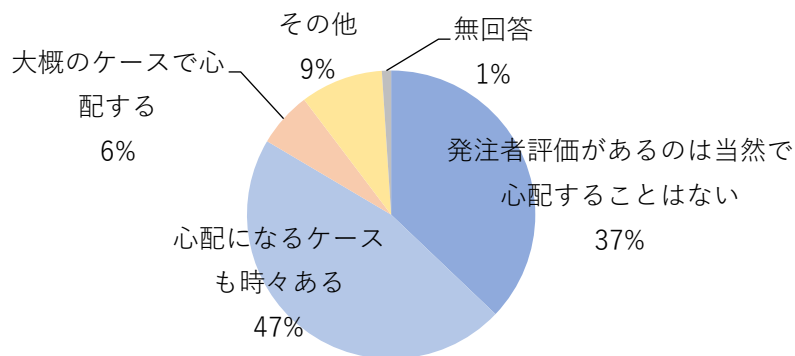
問2 もしそういう経験が生ずるとすれば、その要因は何だと思えますか。(大きな要因と思うもの、3つまで選択)



	発注自治体が協力自治体リストにない	評価依頼書作成が煩わしい	発注自治体との関係変化を心配した	手持ちには☆を獲得できる業務がない	発注自治体にejob事業への協力を頼んだが断られた	手持ちには都市計画的な提案力を求める業務がない	その他	無回答
実数	46	40	27	25	20	15	12	0
割合	47.4%	41.2%	27.8%	25.8%	20.6%	15.5%	12.4%	0.0%
母数	97	97	97	97	97	97	97	97

(母数=回答者全て)

問3 業務評価を依頼することで発注者との関係がギクシャクすることを心配しますか。まだ評価依頼実績がない場合は、想定でお答えください。(いずれか一つを)



	発注者評価があるのは当然で心配することはない	心配になるケースも時々ある	大概のケースで心配する	その他	無回答
実数	36	45	6	9	1
割合	37.1%	46.4%	6.2%	9.3%	1.0%
母数	97	97	97	97	97

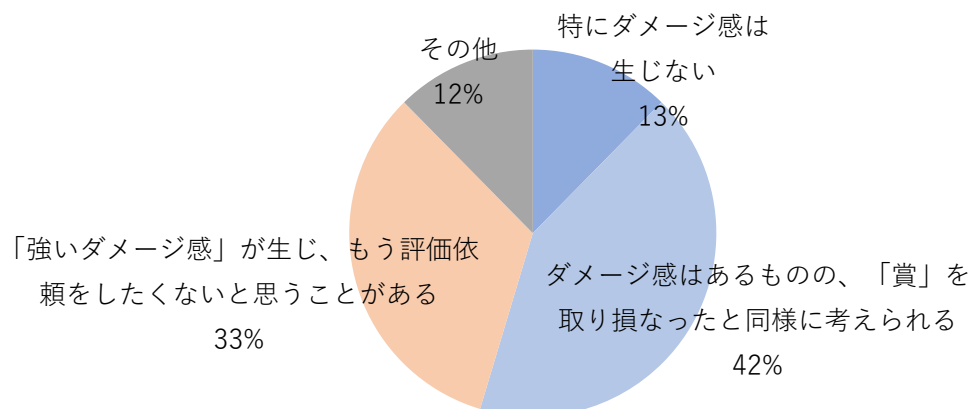
(母数=回答者全て)

問4 前問の心配に対する対応・対策についてアイデアをお聞かせください。(なお、前問の対策の一つとして、今後は、複数年にわたる継続的な業務は全体終了後の評価依頼を原則とする予定です。)

- ・ 1. テクリスとの明確な差別化およびその説明が必要。(そのあたりの理解不足も伸び悩みの要因)
- ・ 2. Ejob 登録・活用のメリット (プロボ・総合評価における得点の加算等のインセンティブ) を設け、明確にする。
- ・ 3. 採点方法の代案として、業務成績評定点を採用する自治体はその評価を基準にする事で、2度手間になる発注担当者への負担を減らす。
- ・ 4. 上位官庁 (国、県) 内での ejob 認知度を上げ、協力を前向きになってもらう事で市町村も従う事になる。
- ・ 5. 全「都市計画コンサルティング業務」を評価対象とする事で、「協力自治体登録」の手間を省き、更に受注側担当者から発注者側に評価を依頼する手間及び精神的負担も軽減する。
- ・ 6. 優良評価とならなかった案件についても登録対象とする事で、データベースとしての ejob を充実させることで自治体での使いやすさを向上
- ・ EJOB 事業の普及・促進がテクリス登録と同じぐらい一般的になること
- ・ ejob 事業協力自治体を増やすため、国交省等の省庁からの地方自治体への周知支援を得る。
- ・ ある程度、成果が認められたことも評価がわかるようにして欲しい
- ・ テクリス登録等との連携
- ・ 管理技術者、照査技術者の要件になっていれば、社会的地位を確保する上で、頼めると思う。九州では、要件になっていないところばかりなので、認知されていない、頼みづらい。
- ・ 客観的な評価が出ることを当たり前とするためにコンサル業務における当該評価の義務化
- ・ 客先の最上位の役職の方の評価としてもらえれば、少なくとも日々業務で接する方とギクシャクすることはないと思う。(ただし、細かな部分を含めた適正な評価をしていただくためには、日々接する方に評価いただきたい)
- ・ 協会を通じ依頼する
- ・ 協力頂ける行政が増えるとよいのではないかと思います。
- ・ 業務の性質上、依頼する側が心配なのは仕方ないことだと考えます。
- ・ 業務完了時以外の時点での発注者への制度説明が必要
- ・ 業務期間中は難しいかと思う (一般論として) / 終了後は評価してもらう事はむしろお互いにプラスだと思う。
- ・ 契約内容への記載
- ・ 経験がないので分かりません。
- ・ 国交省都市局から要請。都区内は東京都からも要請するとよい
- ・ 自治体と同様、コンサルにおいても年度での人事異動や役割の変化等がある中、評価される側としては、これまで通り単年度を原則としていただくことが望ましいと考えます。
- ・ 自社から依頼するには信頼関係の高い発注者でないとハードルが高いため、協会等の第三者が介入できないか。
- ・ 自信を持って評価を依頼できるように、発注者に満足されるよう業務に取り組む。
- ・ 実績を重ねて理解を広めていく
- ・ 初回打ち合わせ時に、学会名義の書類 (A 4、1 枚) があると出しやすい。
- ・ 心配は感じていない。
- ・ 制度の主旨については説明は可能であり、前問の問いへの危惧はない。
- ・ 対応・対策と言えるものではありませんが…。発注者側にもまだ存在自体があまり知られていないのが実情かと思われます。
また、理事者までは必要かどうか判断がつきかねますが、少なくとも担当レベルだけではなく、担当部署全体で当該事業について情報共有がされていないと、依頼・評価も厳しいかと推測されます。
- ・ 対応いただく自治体職員への制度周知

- ・ 対策なし（自社の顧客は自社でケアするしかない→自社で事前確認）
- ・ 担当者の一存で評価できない、つまり課内で評価をしてもらうことになるので、発注者内部での e-job への関心を高める必要がある。
- ・ 特になし
- ・ 特に心配はないが、発注者の評価項目が明確になればよいのではないか。
- ・ 特に発注者との関係に影響することはないと考えます。
- ・ 任意であれば担当者により対応に差が出るので、テクリスのように必須化とマニュアルが必要。
- ・ 認知度を高める
- ・ 発注者・受注者相互への ejob 事業周知の強化
- ・ 発注者から登録するシステムがあってもいいのではないか。
- ・ 発注者と必ずしも良好な関係でない場合や、担当者が異動した場合に、申請を躊躇する場面があります。受託者側の業務に対する姿勢もありますが、全業務評価をお願いするなど機械的な対応ができる仕組みがあればと思います。（具体策が思いつかず申し訳ありません）
- ・ 発注者の負担をなるべく増やさない様な工夫。
- ・ 発注者側が ejob 事業に関心を持っていただき、発注者側からの提出要請等があれば受注者側は評価の良し悪しに関わらず、提出しやすいものと思われるが具体策はない。
- ・ 発注者側の評価判断の基準があいまい。自治体内での決裁手続きのてまを考えると依頼しにくいので、担当者判断等の区分を設けてはどうか？
- ・ 評価シート自体に問題があるのかもしれない。
- ・ 評価基準・評価方法の公平性、明確化
- ・ 評価方法のマニュアル化
- ・ 弊社では、業務終了後、機械的に社内の契約担当部署から顧客宛に顧客満足度調査を行っている。顧客が依頼先を評価することは一般的になってきていると思う。
- ・ 問2のその他で記載したように、発注者に評価を依頼しても、評価が悪かったら受注者にメリットがないので、発注者が依頼するのではなく、テクリスの一連の手続きで評価を行うなど、自動的に評価するシステムにした方がよいと思います。
- ・ 良い評価にならなかった理由等が明確化されると関係性も比較的ギクシャクしないのでは。
- ・ 恣意的な評価依頼にならないように着手時に評価依頼するなど
- ・ 評価の目的が自治体によっては浸透していないため、そのような部署では評価が煩わしいと感じるのでは。
- ・ 業務中から顧客とのコミュニケーションを密にして信頼関係を構築し、ejob制度について丁寧に説明する。
- ・ 印象を良くするために、作業量が増大する可能性が高い。無理なことに対応するケースが増加する。担当者とは異なる視点での提案がしにくい。積み重なると、評価を前提に業務をすることが難しくなる。

問5 自治体評価で☆が付かなかった場合、「強いダメージ感」を生じますか。また評価依頼実績がない場合は、想定でお答えください。(いずれか一つを選択)



	特にダメージ感はない	ダメージ感はあるものの、「賞」を取り損なったと同様に考えられる	「強いダメージ感」が生じ、もう評価依頼をしたくないと思うことがある	その他	無回答
実数	12	41	32	12	0
割合	12.4%	42.3%	33.0%	12.4%	0.0%
母数	97	97	97	97	97

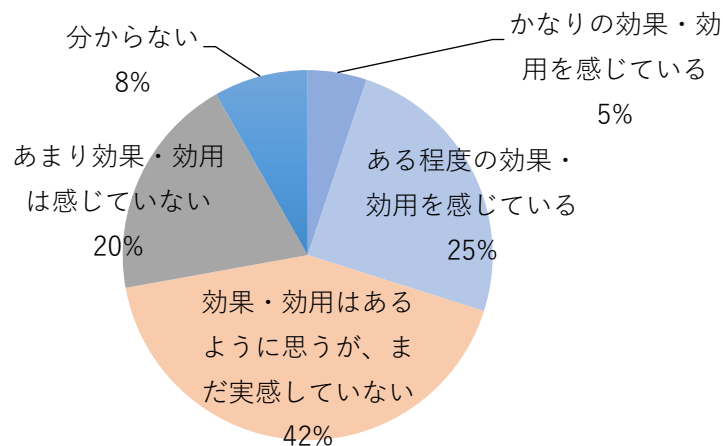
(母数=回答者全て)

問6 前問の「強いダメージ感」を軽減するアイデアがあればお聞かせください。

- ・ ☆のレベルを下げる。
- ・ ☆以外で評価されている部分もあることが分かれば、多少軽減される。
- ・ ejob 事業の性格上、しょうがない
- ・ アイデア特になし。
- ・ そのように評価された理由を知りたい
- ・ もう少し、評価ルールを詳細・統一すべき
- ・ 依頼企業（担当者）への個別回答により理由を提示するなど
- ・ 一定の評価の有無と、??は提案力の高いものを社会にアピールして欲しい
- ・ 過去に評価依頼をして★のつかなかったケースがありましたが、その結果を受けとめて、当該業務を振り返り、今後の業務改善につなげていく材料としています。はじめは感情的な部分が先行するかもしれませんが、それを過ぎれば評価結果を前向きに捉えられると考えます。
- ・ 協力自治体から選定してもらう
- ・ 業務途中での中間評価を実施し、最終的な評価の改善を図る（中間評価は評価システムには連動しないものとする。）
- ・ 具体的な改善点の提示、もしくはなぜそうなったのかの明確な理由の明示
- ・ 顧客満足度を高める業務遂行を行うことしかないと考えます。
- ・ 次回以降は☆がつく評価をいただけるように、業務に真摯に対応する。
- ・ 自治体からの、合理的な評価理由の開示と、この評価が今後の受発注事務に影響しない旨の誓約表明
- ・ 全体として依頼する業務数・評価数が多くなれば、良い評価を得られなくても気にしなくなるのではないか。

- ・ 全問同様、良い評価に至らなかった理由の明確化など。
- ・ 担当者レベルで依頼することになるため、相手の顔が見えない形で進められるならよい。
- ・ 適正に納品された場合は☆1つ、良好☆2つ、優良☆3つなどの区分を追加してみてもどうか。
- ・ 登録数を増やすことで、客観的に比べることができ、一様な評価につながり納得できると思います。
- ・ 特にないが、自治体の評価者が同一基準で評価しているとは考えておらず、その点をどのように改善するかが課題であり、その課題が解消できれば、「強いダメージ感」という議論自体が不要になると考える。
- ・ 評価が得られなかった理由を可能な限り具体的に指摘いただくと、次の業務に参考になると考える。
- ・ 評価する人によって、辛口・甘口になるのは仕方がないと思う一方、人は評価されたい欲求もあると思うので、コメントでもよいので、よかった点を一言もらえれば、すこしは励みになるのではないかと。
- ・ 評価を受け入れたということを公表し、プラス評価を与える
- ・ 評価基準の明快化
- ・ 評価自体がプラス評価であることや、評価者毎のばらつきをなくすことのために、評価基準の明確化・統一化を徹底する。
- ・ 分かりません。
- ・ 明確（具体的）な理由を合わせて評価する
- ・ 明確な採点理由がわかると良い。
- ・ 問4の記載のとおり
- ・ 目的の理解浸透が必要（国・県を通じた周知等）。"
- ・ 特に無い。評価に対して過大な期待をせず、真摯に業務に取り組む。
- ・ 業務内容に限定した評価を希望するが、担当者との日頃の円滑な関係作りなどが不可欠になり、発注者、受注者の対等な関係になりにくい。業務内容に限定した評価という但し書きを強調する。

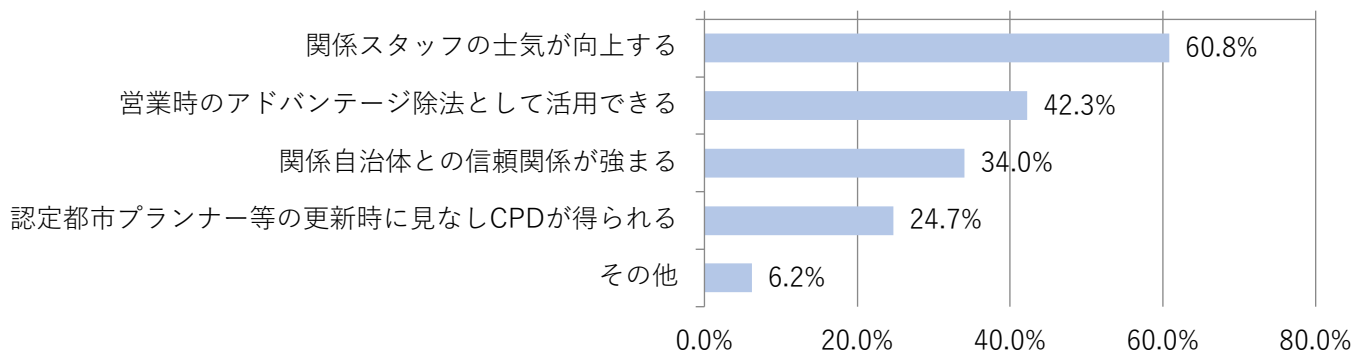
問7 自治体評価で☆がついた場合、社内外で一定の効果・効用をお感じですか。まだ評価依頼実績がない場合は、想定でお答えください。（いずれか一つを選択）



	かなりの効果・効用を感じている	ある程度の効果・効用を感じている	効果・効用はあるように思うが、まだ実感していない	あまり効果・効用は感じていない	分からない	無回答
実数	5	24	41	19	8	0
割合	5.2%	24.7%	42.3%	19.6%	8.2%	0.0%
母数	97	97	97	97	97	97

(母数 = 回答者全て)

問8 自治体評価で☆がついた場合の効果・効用として期待するものは何ですか。(重要と思うもの2つまで選択)



	特にダメージ感はない	ダメージ感はあるものの、「賞」を取り損なったと同様に考えられる	「強いダメージ感」が生じ、もう評価依頼をしたくないと思うことがある	その他	無回答
実数	59	41	33	24	0
割合	60.8%	42.3%	34.0%	24.7%	0.0%
母数	97	97	97	97	97

(母数=回答者全て)

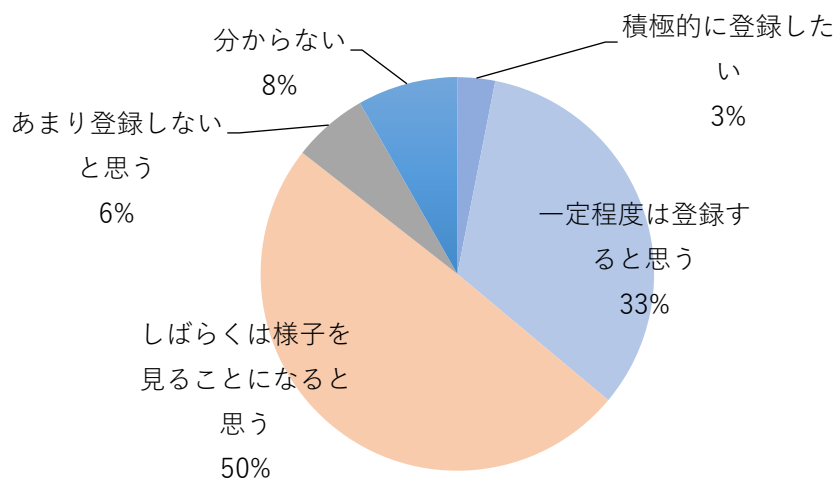
問9 ejob 事業全般（事業スキーム、評価方法・評価基準、登録料、運営方法等）について、ご意見・ご希望があれば、お聞かせください。

- ・ ☆印が付いた場合、プロポーザルで加点されるのであれば、普及が進むと思います。
- ・ 1. 自治体側へのメリット向上： 優良評価とならなかった案件についても登録対象とする事で、データベースとしてのejobを充実させることで自治体での使いやすさを向上する。
- ・ 2. コンサル側へのメリット向上： 優良評価を取った技術者をプロポ・総合評価の加点対象とする。
- ・ 3. コンサル側への負担軽減（発注者への登録及び評価依頼）： 「業務評価の義務化」 国レベルで該当業務の基準を定め、全業務を「評価対象」とした上で、評価を発注者側に義務付ける。これにより協力自治体の有無その登録に係る手間と労力を削減すると共に、優良評価業務数の分母も判るシステムとする事で、コンサル全体の技術力の分布や隔たりも展望できるようにする。この時、業務の仕様書には「ejob 評価対象業務」等と明記した上で発注契約を行うものとする。
- ・ 4. 自治体側メリット向上： テクリスと連携可能とする事で、自治体側でもテクリス登録時にチェックボックスで評価を記入？
- ・ 2次募集の必要性について。業務の契約期間が終了しても、その後に若干のアフターケアが継続する場合があります。そのような業務の場合、契約期間終了後4か月以内の評価依頼が困難なケースもありますので、2次募集を実施していただけると助かる場合があります。
- ・ CPD 得点を管理できないまま更新をしないことにしたのでejob 事業についても積極参加しなかった／コンサルタント業務受注も数年で終了予定（建設コンサルタントの次回更新2021年までか？）
- ・ ejob 評価自治体が着実に増加しているとは言えども、全国自治体に占める割合は非常に低い状況であるため、まず参加自治体を増やすことが重要。

- ・ これまでの申請物件において、残念ながら☆が頂けなかった業務もあったが、その一方で、弊社では、継続的な申請により、☆を頂けた業務が複数になってきており、今後の申請も含めて、その積み重ねは、かなりの営業材料になる実感をしている（プロポーザルの企画提案書でのアピール等）。このような仕組みである以上、低評価の物件もあるが、それ以上に☆を頂けた際のメリットをより一層PRすることをしても良いと感じます。
- ・ コンサル側から依頼するのではなく、発注側から当初より ejob 事業対象の業務であるという条件であれば取り組みやすい
- ・ コンサル側だけでなく自治体にとってのメリットも伝えて積極的な協力をもらえるように組織的に地道に働きかけを行っていく
- ・ テクリスとの差別化を明確にしないと、テクリスの業務概要が 300 字⇒500 字に増加した段階で大きな負担になっており、現行テクリス登録を優先せざる負えない状況において、ejob まで手が回らないというのが実情である。
- ・ テクリスと連携して、例えばテクリス登録時に ejob 評価希望とすれば、自動的に当該自治体に評価依頼が行われるような仕組みにできるとよい
- ・ どうやって存在を周知させていくかが重要。
- ・ まだ、☆が付くメリットが大きくないなかで、登録料が必要であることが、評価依頼をためらう一因となっている気がする。
- ・ メインの担当者が異動していた場合に、本当に異動先まで依頼をしているのだろうか。おそらく、課に残っている別の担当の方が、代理で書いているのではないか。その場合、正しい評価が得られているのかが疑問である。
- ・ 客観的・公平な評価を求む
- ・ 協力公共団体の裾野を広げていくことに期待したい
- ・ 協力自治体を含め、自治体の担当者ベースでは制度を重要視している様子がないため、評価基準への導入斡旋等を強化して欲しい。
- ・ 協力自治体数を増やしてもらいたい
- ・ 業務評点や業務表彰とどう差別化できるか
- ・ 九州だと、協力自治体がほんとに少ない。
Ejob 事業、CPDポイントが得られるシンポジウム等も限られ、ポイントが積みあがらない。
認定都市プランナーの更新に必要な 100P の確保は無理だと半分あきらめている。
地方への配慮を考慮した更新のシステムとして欲しい。
更新できた人、更新できなかった人の分析（地方別等）、情報公開もお願いしたい。
- ・ 現状意見等はなし。
- ・ 項目を多く 4 段階評価で、1 対法や共分散構造解析等を利用する
- ・ 事業のメリットを伝えるため、当面は案件形成（3 年のストック：評価結果を具体的に活用した事例紹介）に力点をおいた方がよいのでは
- ・ 自治体に浸透しているのかよくわからないので、登録することにメリットがあるのかがよくわかりません。自治体等にもっと広く浸透すればよいと思います。
- ・ 取り組みの目的はよいことだと思うので、このような調査で課題を抽出し、制度設計を継続的に見直していく必要がある。
- ・ 先日、北九州市での業務を申請。市との関係は極めて良好であり申請への理解は得られていたが、繁忙期であったため手続きに日時を要した。市の手続きの簡素化をお願いします。
- ・ 地方都市の小さなコンサルタントでも、評価されるような仕組みを望みます。
- ・ 地方部の支店・事務所では先進的な業務など提案を求められる業務に関わることが少なく、ejob 事業への貢献度が低くなるように感じます。

- ・ 登録の自治体が増えるようにしていただきたい。
- ・ 年度が変わると担当者が移動になり、依頼しにくい。
- ・ 発注者が実施する評定点、表彰制度、弊社が独自で実施する顧客アンケート、コリンズ・テクリスによる実績登録で十分と考えております。
- ・ 発注者となる自治体へ周知をさらに進めて実効力を上げてもらいたい
- ・ 弊社は、新たな取組みとして試行段階から積極的に対応させて頂いております。協力自治体が増え、評価依頼しやすくなることを期待します。
- ・ 別の枠組みでも良いが、逆評価（自治体の発注適正化・案件管理運営能力の評価）の仕組みも考えてはどうか。
- ・ 偏った企業と行政が行っているだけの取組みになっているように感じます。
- ・ 自治体間やその部署・担当者で浸透度が違うと思われるので、引き続き周知をお願いします。
- ・ 評価基準が明確化されていないので、登録業務数が増えてくると今後問題となる恐れがある。
- ・ 自治体、担当者が委託業務の性格をもう少し明確に認識してほしい。金曜日の夕方連絡があり、月曜日までの成果が欲しいなどの依頼がしばしばある。こうした場合への対応のルールなどを組織として、組織として確立していくことが必要になってきている。こうした委託：受託の関係の中での評価という点に関する明確な指標が必要になっているのでは？

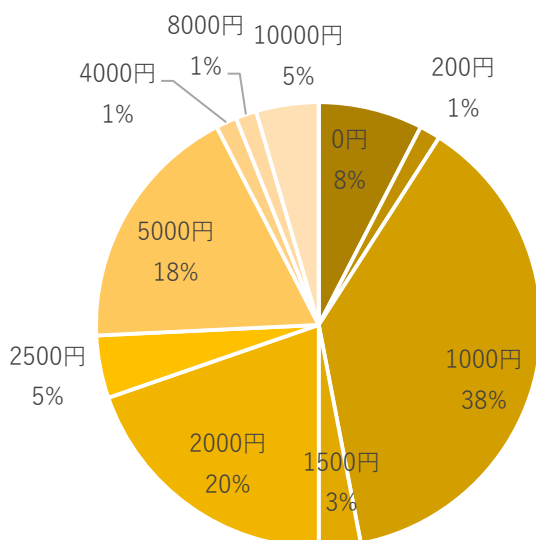
問10 上記のような「裾野を広げたデータベース」への登録を呼びかけられた場合、登録料がリーズナブルであれば、登録したいと思いますか。



	積極的に登録したい	一定程度は登録すると思う	しばらくは様子を見ることになると思う	あまり登録しないと思う	分からない	無回答
実数	3	32	48	6	8	0
割合	3.1%	33.0%	49.5%	6.2%	8.2%	0.0%
母数	97	97	97	97	97	97

(母数 = 回答者全て)

問 1 1 問 10 のデータベースの登録料はどの程度がリーズナブルと考えますか。「1 業務当たり ○千円程度」でお書きください。



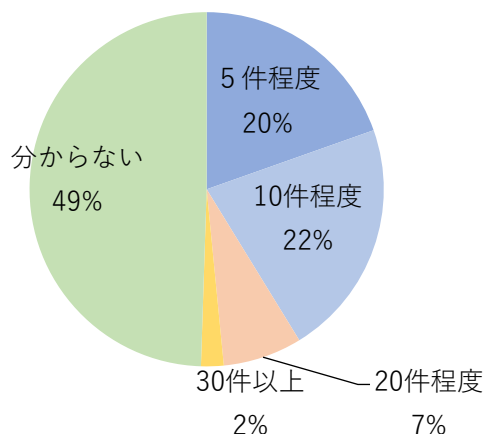
	0円	200円	1000円	1500円	2000円	2500円	5000円	4000円	8000円	10000円
実数	5	1	25	2	13	3	12	1	1	3
割合	7.6%	1.5%	37.9%	3.0%	19.7%	4.5%	18.2%	1.5%	1.5%	4.5%
母数	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66

(母数 = 具体的な金額を回答した回答者)

【その他の主な回答】

- ・費用対効果の捉え方でリーズナブルかどうかが決まると思います。現段階で効果（メリット）が実感できないので、お金をかけて登録しづらいです。
- ・顧客の評価基準に含まれていない現状では、回答できません。
- ・効果、必要性が分からないため、妥当な金額が分かりません。
- ・テクリス登録がある上での必要性がわからないので、登録料は現状では考えにくい。
- ・そもそも料金を支払った費用対効果が不明
- ・現在の価格が妥当な金額であると思われる。
- ・テクリスと同程度、またはそれより低い水準
- ・組織の規模にもよるため適正な登録料の評価は難しい。一つの基準はテクリスの登録料と同程度ということになるのではないかと。
- ・登録に必要な事務手数料相当額が妥当だと考えます。

問12 リーズナブルの登録料のもとに上記データベースが開設された場合、貴社としては年間何件くらい登録されますか（個人の場合は所属する会社をイメージしてお答えください）。



	5件程度	10件程度	20件程度	30件以上	分からない
実数	19	21	7	2	48
割合	19.6%	21.6%	7.2%	2.1%	49.5%
母数	97	97	97	97	97

（母数＝回答者全て）

問13 上記のデータベースのあり方で特に重視したい事項があれば、その理由と共にお聞かせください。（重視したい事項例：情報の信頼性、情報内容、データベースの操作性等）

- ・ ☆による偏った評価は避けたい
- ・ データベースの操作性等。
- ・ データベースを活用する自治体のニーズへの対応
- ・ テクリスとの相違
- ・ わからない
- ・ 各業務の専門性の高い技術情報
- ・ 各業務の本質的な内容が見た人にしっかり伝わること（業務名だけだと分野程度しか把握できないため）
- ・ 検索の操作性
- ・ 見てもらってなんぼのデータベースなので、誰がどのように検索できるかが重要。
- ・ 現時点でデータベースの必要性を感じておりません
- ・ 公共団体の具体的な評価理由
- ・ 今のところ特にありません。
- ・ 事業全体の流れ、評価の流れ、評価基準などが丁寧でわかりやすいこと
- ・ 実質的に主体的に関わった技術者に対する評価
- ・ 情報ごとの利用頻度、自動的な分析結果の閲覧。
- ・ 情報の一覧性向上
- ・ 情報の信頼性
- ・ 情報の信頼性
- ・ 情報の信頼性、データベースの操作性
- ・ 情報の信頼性、情報内容、データベースの操作性はもちろん。
具体的にというわけではないが、独自性も評価されるといいかと思う。
- ・ 情報の信頼性：
 - ・ 国が認定するレベルであれば、官民の発注者への説得力は高くなり、プロポ・総合評価への加点制度

を取り入れ易い。

・企業アピールに繋がるので、優良評価有無の間での提供情報内容を差別化する。

データベースの操作性：

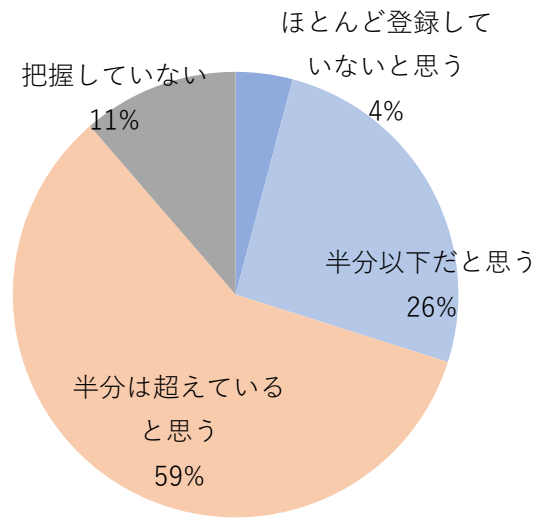
・入力、評価も全て人を介さずシステムを通して行う。文字数制限や入力漏れもシステムが自動的に指摘可能

・閲覧者が年度、地域、業種、規模等のパラメーターから検索しやすいシステムインターフェースが必要。

・テクリスとの連携もしくはデータとしてのリンク

- ・ 情報の信頼性は言わずもがな重要である。
- ・ 情報の信頼性は重要だと思います。
- ・ 情報の精度(評価基準の明確化・統一化とセット)
- ・ 情報の内容と安全性
- ・ 情報の内容と信頼性
- ・ 情報を自治体等に見てもらえるよう PR、自治体以外の発注者にも PR 出来るように
- ・ 情報内容
- ・ 情報内容
- ・ 情報内容
- ・ 情報内容と信頼性、登録の手間
- ・ 情報発信力。より多くの自治体にデータベースを閲覧・活用してもらえるようになることが重要だと思います。
- ・ 操作性
- ・ 担当者や地区名等の秘匿性
- ・ 発注者が参照する機会があるのか。TECRIS などの登録サービスが別にあるなかで協力が得られるのかなど疑問。
- ・ 評価者に左右されない客観的な評価。現在データベースで公表されている業務においても、業務の内容と評価が必ずしも一致しているとは捉えていないため。
- ・ 複数発注者からの偏りのない情報
- ・ 優良業務のみ公開する仕組みを最重視。
これによりテクリスとすみ分けができると考える。
幅広い業務 DB は、業界をあげてテクリス（自主登録）を推進（または発注者に特記仕様で義務付けをお願いする）すれば済むと考える。。
- ・ 業務を通して、獲得した成果の開示。（開示には、発注者側からの了解を頂くことが前提） そのため、発注者とは業務終了後に意見交換会を必ず実施するといった仕組みづくりを組織として行う。

問14 貴社の都市計画コンサルタント業務のうち、現に稼働しているテクリスに登録するのは何割くらいでしょうか（個人の場合は所属する会社をイメージしてお答えください）。



	ほとんど登録してないと思う	半分以下だと思う	半分は超えていると思う	把握していない	無回答
実数	4	25	57	11	0
割合	4.1%	25.8%	58.8%	11.3%	0.0%
母数	97	97	97	97	97

(母数=回答者全て)